

Yotam Ben-Or & Shachar Elnatan

[Profile]

Yotam Ben-Or ヨタム・ベン＝オル : harmonica



9歳の頃ピアノのレッスンを受け始める。

その後、叔父からハーモニカを贈られこのユニークな楽器に魅了されその演奏法を教わる。

高校卒業後、テルアビブ音楽院とニューヨークのニュースクール・フォー・ジャズの共同プログラムに参加する。在学中、国内各地でシーンのトップミュージシャンたちと共演し、2014年から2016年にかけてAICF助成金を受賞、ロストフ国際ジャズコンクールで優勝する。

自身のグループ”ジュピター”で、アヴィシヤイ・コーエンがプレゼンター兼プロデュースしたアルバム「オール・オリジナル」をレコーディングする。

2014年、ニュースクール大学への全額奨学金を得てニューヨークへ移住し、2016年に同大学を卒業する。2016年、ピアニストのジェイソン・モランが指揮するケネディ・センターでのベティ・カーター・ジャズ・アヘッドに参加する。

ニューヨークでは、自身のグループと共に、ジャズ・アット・リンカーン・センター、カーネギー・ホール、ブリック・ジャズフェスなど、ニューヨークの名だたる会場やフェスティバルで演奏している。また、ル・デュック・デ・ロンパール、フェスティバル・ダ・ジャズ・サンモリッツ、テルアビブ・ピアノ・フェスティバルなど、ヨーロッパの著名な会場やフェスティバルにもツアーで参加している。2025年、リンカーン・センターで上演されるブロードウェイのショー「フロイド・コリンズ」にハーモニカ演奏者として出演している。

ベン＝オルは、10代の頃からハーモニカ巨匠のグレゴワ・マレの指導を受けるという恵まれた環境にあったが、2015年以降はマンリー・“ピリ”・ロペスなどの巨匠たちに、様々なアフロ・カリビアン・スタイルの音楽を学び、演奏するために頻りに中米を訪れている。

2018年、デビューアルバム『Sitting on a Cloud』をリリースする。

2022年、「Endless」と『Deliberations』という2枚のEPを同時にリリースする。

「Endless」は、ジャズでは地味な存在と思われがちなハーモニカという楽器の現代におけるもっとも

優れた表現者が彼であることを強く印象付ける作品に仕上がっている。同作品にはガブリエル・シャカルヒ、オフリ・ネヘミヤ、タル・マシアなどが現代ジャズ・シーンのキーマンが多数参加している。3枚目のアルバム「Impermanence」は2025年6月にリリースされた。

世界的に高く評価されているハーモニカ奏者であり作曲家でもあるヨタム・ベン＝オルは、「私の意見では、スティーヴィー・ワンダー自身に匹敵するレベルの演奏をしている」(Bass Musician Magazine)と評価されている。

Shachar Elnatan シャハル・エルナタン : guitar



ギタリストの父親からは素晴らしいジャズやロックのレコードを、米国生まれでフィドル奏者でカントリーミュージックバンドを組んでいる母親からは、アメリカのフォークミュージックに触れるなど音楽的影響は家庭環境から始まっている。

6歳で父親からギターを教わり演奏を始め「エルサレム音楽アカデミー高校」でクラシック音楽学ぶ。高校時代には、地元の様々なグループで演奏活動を行い、長年にわたり吸収してきた幅広い音楽的影響を反映した作曲を始める。また、エルサレムで生まれ中東やアラブの音楽に囲まれて育ったことは彼の音楽観に大きな影響を与えた。

2010年、イスラエル・アメリカ文化財団(IACF)の奨学金を得てニューヨークへ渡り、ピーター・バーンスタイン、ラーゲ・ルンド、ギラッド・ヘクセルマン、といった著名なミュージシャンに師事する。その後、2012年「リモン音楽学校ジャズコンクール」で優勝し、オーストリアのグラーツで開催された「国際ジャズ学校協会」(IASJ)に派遣されるなど世界各地で様々なミュージシャンと共演した後、自身のバンドを結成する。

2014年、ベーシスト兼作曲家であるアヴィシヤイ・コーエンがプロデュースする若手ジャズ・ミュージシャンたちの演奏を録音する事を目的としたコンピレーション・アルバム『All Original』に自身のバンドで参加する。

シャハルの力強い音楽性と独創的な作曲は、コーエンとのさらなるコラボレーションへと繋がり、彼のデビュー・アルバム『One World』(2016年)にコーエンも参加している。10代の頃より同世代のGTOトリオのメンバーやアヴィシヤイ・コーエン、ラヴィ・コルトレン、エリ・デジプリ等と共演している。現在、シャハルはリーダーやサイドマンとして、幅広いジャンルを網羅する様々なプロジェクトで世界中で活動し演奏活動を続けている。